



DAIHATSU



2013年9月19日

(1/3)

## インドネシア国際モーターショー2013に 8台のコンセプトカーを出展

ダイハツ工業（株）（以下 ダイハツ）のインドネシアの子会社であるアストラ・ダイハツ・モーター（以下 ADM）は、9月19日（木）～29日（日）に、インドネシア・ジャカルタで開催されるインドネシア国際モーターショー2013に、世界初公開となる計8台のコンセプトカーと、技術展示「AYLAテクノロジー」を出展する。

今回のモーターショーでは、“ダイハツはベストフレンド（Daihatsu Sahabatku）”をローガンとして「Compact ECO Mobility Best Friend」をテーマに、スモールカーのリーディングカンパニーをめざし、日本で培った低燃費・低価格なクルマづくりとあらゆる面で現地化を加速させてきたダイハツの取り組みをアピールする。

「UFC2」は、2012年に出品した「UFC」の進化形となるコンセプトカーであり、ADMが中心となってデザインした。ダイハツのスモールカー技術を活かし、運転しやすいコンパクトなボディサイズながら、7人が十分に乗車できる広い室内とインドネシアでの生活に欠かせない利便性を両立した。

「CUV」は、スポーティな外観とバックドアの上下分割開きやリヤシートアレンジで生まれるリヤ空間の活用などで、多彩なシーンで活躍する夢のある Cross-over Utility Vehicle である。

「D-R Estate」も、2012年に出品した「D-R」を進化させ、エレガントで独創的なスタイリングと素材にこだわった上質なインテリアに、660ccエンジンを搭載し、走りの楽しさと低燃費を両立している。

「AYLA World」では、スポーツマインドをくすぐるエアロタイプの「AYLA GT」、オフロードもこなせるタフな「AYLA <sup>クロス</sup><sub>トラック</sub> X-track」と贅沢な雰囲気のあるワンランク上の「AYLA Luxury」と、3つのコンセプトで先ごろ発売した「アイラ」の今後の可能性を訴求している。

(2/3)

「NC-Y」「NC-Z」は、インドネシア市場で好評を博している「アイラ」よりさらにコンパクト性を追求し、二つの方向性で発展させたコンセプトカーである。「アイラ」はミラリースで実現した低燃費・低価格を受け継いだモデルであり、「NC-Y」は実用的で知的、「NC-Z」は躍動的で颯爽としたイメージを付加し、「アイラ」のその先にある商品の方向性を示している。

<画像>



UFC2 concept



CUV concept



D-R Estate concept



[AYLA World] A Y L A G T



[AYLA World] A Y L A クロス トラ ック  
X - t r a c k



[AYLA World] A Y L A L u x u r y



N C - Y c o n c e p t



N C - Z c o n c e p t